

飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会
第1回スポーツ部会 次第

日時：令和5年6月19日（月）

19：00～20：45

会場：市役所C311～313

1 開 会

2 あいさつ（部会長）

3 報告事項

- ・5/24 協議会の振り返り

4 協議

（1）全体協議

- ・飯田市の理念、目指す生徒についての確認

（2）グループ協議

① 前回出された課題について

- ・課題1（活動の場に係ること）について
- ・課題2（指導者に係ること）について
- ・課題3（生徒・保護者等に係ること）について

② 具体的な対応策について

（3）まとめ・共有

- ・各グループで協議されたことの共有

5 アドバイザーからのお話

6 その他、連絡

- ・次回の部会について

期日 7月31日（月）～8月2日（水）または8月7日（月）～9日（水）

内容

- ・今後の部会について 次回本部会 11/16 までに2回程度開催予定（9月、10月予定）

課題や将来像に向かうための対応策の整理（当面やるべきこと、中長期で検討していくこと等）

7 閉 会

令和5年度 飯田市中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会委員

氏名	所属団体等	備考	グループ	出欠
井坪 晃俊	飯田市スポーツ推進委員協議会	本部会・スポーツ部会	1	
江取 光雄	(公財)飯田市スポーツ協会	本部会・スポーツ部会	2	
大澤 忠史	飯田市校長会 (旭ヶ丘中学校)	本部会・スポーツ部会	3	
小澤 健	NPO法人南信州クラブ	本部会・スポーツ部会	1	
桜井 一彰	羽場文化・スポーツクラブ	スポーツ部会	2	
武井 公德	飯田市PTA連合会 (飯田東中学校)	スポーツ部会	3	
羽生 功樹	飯田市スポーツ少年団 (本部長)	本部会・スポーツ部会	1	
牧原 雅	飯田市スポーツ推進審議会	本部会・スポーツ部会	2	
三石 義弘	飯田市公民館長会(下久堅公民館)	本部会・スポーツ部会	3	
山本 裕貴	下伊那中体連事務局 (緑ヶ丘中学校)	スポーツ部会	1	
吉澤 高志	飯田市教頭会 (山本小学校)	本部会・スポーツ部会	2	
吉田 博明	障がい者支援スポーツセンター駒ヶ根	スポーツ部会	3	
熊谷 繁	南信教育事務所飯田事務所指導主事	アドバイザー		

伊藤 弘	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課長			
氏原 理恵子	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課係長			
松原 岳史	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課主事			
北村 翔太郎	飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課主事			
賜 正俊	部活動地域移行支援コーディネーター			

☆ 前回協議会で出された課題の整理

	課題	対応策
1 活動の場に 係ること	<ul style="list-style-type: none"> ・既存団体が、現在の中学校部活動をそのまま受け入れることはできない。 ・地域間によるばらつきがあり、それによって体験格差が生まれている。 ・多様なニーズに応える場づくりが難しい。 ・地域と中学生がつながる場がない。 ・既存の団体が受け入れるための体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の競技団体の把握。受け入れの持続可能とするための支援。 ・学校と受け入れ可能な団体との連携を進めるコーディネーターの役割
2 指導者に係 ること	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者の確保 ・指導者の育成システムがない。 ・指導者の質の担保 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者確保に向けた対応策 地域内の潜在指導者の掘り起こし 企業との連携による人材の開拓 指導者バンクの創設 ・指導者の育成・質の担保 指導者研修会の開催 動画コンテンツの作成
3 生徒・保護 者等に係る こと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域クラブへ移行の趣旨やその必要性についての理解不足 ・新たな費用負担の発生 ・移動に係る送迎の負担の発生 ・経済的困窮家庭への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒のニーズの把握 ・困窮家庭への支援 ・部活動地域移行の目的の理解促進
4 学校に係る こと	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の地域クラブとの連携のあり方 ・学校施設の貸し出し・管理の方法について ・主にこれまで学校が担ってきた生徒指導等の問題への対処をどうするか。 ・クラブでの指導を希望する教員の把握と兼務申請をどのように進めるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・大会の在り方の検討、見直し ・兼職兼業の制度の周知と活用しやすい環境づくり
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> ・運営主体はどこか。運営組織をどのように構築するか。 ・他町村との連携 ・外部指導者への謝金、指導者への研修費の補助等は考えられないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政と関係団体、学校との連携体制の構築 ・コーディネーターの配置により連携推進 ・地元企業との連携 ・財源確保の取組、寄付金、ふるさと納税等

★取組の目的

中学生が、ウェルビーイングを感じながら、地域の中で、主体的に様々な文化芸術・スポーツ活動に取り組むことを通じて、心身の健やかな成長と豊かな社会性を育む

- 1 生徒がやりたい文化芸術・スポーツのできる地域環境をつくる
- 2 生徒が文化芸術・スポーツの楽しさを実感できる場をつくる
- 3 生徒が生涯にわたり文化芸術・スポーツに親しむ意識と習慣を育む
- 4 高い技能レベルをもつ生徒を地域で育む

★R 1 からこれまでの取組

<取組の前提> 学校教育と社会教育との連携による取組

地域移行に向けた土台づくり

学校教育

- ・部活動方針の遵守
- ・生徒が主体となる部活動 等

- 1 生徒の主体性を基軸とした活動(冬季・ジブンチャレンジ期間)
- 2 良好なコミュニケーションでつながるチームづくり (筑波大学ADとの研修会等)
- 3 文化芸術・スポーツ活動時間の適正化 (部活動総時間数 665時間→430時間)
- 4 心身の成長を支える指導の適正化(指導者の心得6か条・筑波大学ADとの研修会)

社会教育

- ・全市型競技別スポーツスクール
- ・指導者研修会 等

・部活動地域移行→中学生のためのより良い文化芸術・スポーツ活動の場を地域ぐるみでつくっていく ≠ これまでの部活動
従来の部活動をそのまま移行するものではない

・大切にしたいこと「部活動の意義：異年齢との交流における人間関係の構築、自己肯定感や責任感、連帯感の育成」「指導者の心得6か条」

「子どものため」をアップデートさせよう

- ・一つのことに脇目もふらず ⇒ 多様な経験、多様な人との出会い
- ・長時間練習による能力の向上 ⇒ 科学に基づいた効率的な練習による能力の向上

★R 5～ <部活動地域移行>

今後の中学生の活動イメージ

<中学生の志向>

- ✓文化芸術・スポーツを楽しみたい
- ✓多様な種目を楽しみたい
- ✓特定種目の技能、競技力を高めたい



主体的な参加

★中学生の主体的な活動の場＝地域の単位

- 1 中学校区・・・歩いて行ける身近な活動の場
【総合型地域スポーツクラブ・地区サークル】
- 2 全市・・・多様なレベルやニーズに応じた活動の場
【全市型競技別スポーツスクール(R1～先行実施)、スポーツ協会、民間クラブ】
- 3 飯田下伊那・・・希少種目や限定的な指導者による活動の場(相撲、ラグビー等)



★中学生が文化芸術・スポーツを楽しめる環境づくりのための連携協議会の設立 (文化部会とスポーツ部会)
文化芸術・スポーツ分野の関係者が集い、中学生期の現状や課題について意見交換し、今後の方向性を協議する